



Ⅲ 生活必需物資の確保及び価格の安定

1 生活必需物資の確保及び価格の安定

(1) 生鮮品等の安定供給の確保（経済労働局中央卸売市場北部市場業務課）

◎

【優良出荷者表彰】

表彰者数	19 団体
・青果部	11 団体
・水産物部	4 団体
・花き部	4 団体

(2) 新たな産地開拓に向けた取組（経済労働局中央卸売市場北部市場業務課）

◎

産地開拓による集荷の確保に役立つことを目的として、水産物部の各関係事業者と協力し、水産物部のPRパンフレットを作成した。

(3) 市内産農産物の地産地消の推進（経済労働局農業振興課）

◎

市内産農産物「かわさきそだち」を利用した料理動画の配信や、イベント等における広報物の配布等によりPR活動を行い、地産地消の推進を図った。

(4) 価格動向等の調査（経済労働局消費者行政センター）

◎

生活必需物資の価格動向及び需給状況について、特に問題は認められなかった。

2 災害緊急対策

(1) 生活必需品の提供確保（経済労働局消費者行政センター）

① 市内のスーパー等と締結している「災害時における生活必需物資の供給協力に関する協定」に基づき供給体制の確認を行った。

◎

② 生活協同組合の協力を得て「災害時における応急生活物資供給等の協力に関する協定」の実効性を高めるため、締結団体と情報伝達訓練を行った。

◎

③ 神奈川県牛乳流通改善協会と「災害時における牛乳等の供給協力に関する協定」に基づき、供給体制の確認を行った。

◎

④ 大手コンビニエンスストアと締結している「災害時における物資の供給に関する協定」に基づき、供給体制の確認を行った。

◎

令和 3 年度の実績

実績
評価

(2) 飲料水の供給（上下水道局水道管理課）

- ・震災時の飲み水の確保のため、地震に強い水道管の整備を進めるとともに、整備が完了した応急給水拠点に加え、配水池、配水塔や供給ルート of 耐震化が完了した市立小中学校等の開設不要な応急給水拠点を 22 箇所整備した。
- ・地域住民参加による応急給水訓練を計 4 回実施し、訓練実施区の応急給水拠点の確認や給水タンク車等から応急給水資器材を立ち上げての給水訓練を行い、防災意識の高揚を促した。
- ・自主防災組織等が災害対策用貯水槽の設置されている応急給水拠点を開設するに当たり必要となる技能を修得・維持するため、組立て・給水研修を 2 回実施した。
- ・自主防災組織等が配水池・配水塔を活用した応急給水拠点を開設するに当たり必要となる手順等を理解するため、開設不要型応急給水訓練を 1 回実施した。

◎

(3) 備蓄物資等の整備（危機管理本部危機管理部）

① 備蓄生活用品の購入等

災害対策用毛布のリパック	5, 120 枚
哺乳瓶用乳	1, 500 本

◎

② 備蓄食料品の購入

アルファ化米（わかめ御飯）	57, 600 食
アルファ化米（おかゆ）	10, 750 食

◎

③ 備蓄飲料水の購入

飲料水（500ml）	34, 464 本
------------	-----------

◎

④ 粉ミルクの購入

アレルギー対応粉ミルク（850g）	176 缶
通常の粉ミルク	324 箱

◎

⑤ 備蓄用資器材・備品の購入

ガソリン缶詰（1リットル）	556 缶
---------------	-------

◎

(4) 防災に関する情報（危機管理本部危機管理部）

① ぼうさい出前講座

防災に対する理解と関心を深め、防災意識の高揚と地域の防災力向上を図ることを目的とし、ぼうさい出前講座を実施した。

実施回数	47 回
------	------

◎

② 各種防災啓発冊子の発行

備える。かわさき	30, 000 部
防災マップ	38, 500 部
タブロイド誌「号外！備える。かわさき」	790, 000 部

◎